

「こんにちば普及センターです」

「家族経営協定推進アドバイザー」の皆さん、ただいま活躍中！

遠野普及サブセンター 柳谷 浩子

皆さんは、「家族経営協定」という言葉を聞いたことがありますか？この言葉だけを聞くと、何かとても堅苦しい、難しいイメージがありますよね。でも、実際に何をするのかと言えば、家族内でルールを決め、それを実践していきましょう、という取り決めをわかりやすく文書にすることです。

どんなルールにするかは、その家族の決め方次第です。例えば「〇月の農休日はいつごろなのか」、「〇〇の草刈り作業は誰が分担するか」、「給料は〇月に誰に、いくら払うのか」などの



ほらほら、こんなことやんのさ～



どうです？ やってみねえすか？

具体的な内容も多く見られます。この家族経営協定ですが、遠野市では農業委員の方々が中心となって締結を勧めているところです。

今回、ご紹介するのは、34人の農業委員の中の4人の女性農業委員の皆さんの活動です。この方々は「家族経営協定推進アドバイザー」にも委嘱されており、女性ならではの「コミュニケーション力」を発揮して、活動されています。

平成20年3月31日時点で、遠野市の協定締結数は106組ですが、

平成20年度の目標は15組。何とか目標を達成したいと、今までにない新たな活動に取り組んでいます。

その取り組みのついで、地元ケーブルテレビ（遠野テレビ）で協定について紹介し、関心を持ってもらおうという活動があります。

「遠野テレビ」は遠野市内の世帯普及率が約7割の、とても影響力の高いメディアです。遠野普及サブセンターでは、月に二度ほど「旬な技術情報」を発信しています。そんな影響力の高いメディアを使わない手はない、とばかりに女性農業委員の業務検討会の中でテレビ放送への取り組みが決まりました。

その手始めとして、11月から2月



あまり難しく考えないで…

まで実施される「家族経営協定推進強化月間」開始に合わせ、そのお知らせと4人のアドバイザーの方々の活動写真を週替わりで紹介しました。

「テレビに出てたっけな、って言われる」と恥ずかしそうに笑顔で話すアドバイザーの皆さん。この前向きな活動が遠野市の農業の支えになっていることは間違いありません。

この後も、市政テレビ番組の放送が1月下旬に予定されています。その内容は、すでに協定を結んだ家族から率直な生の声を発信してもらおう、というねらいで、女性農業委員が自らインタビューをしています。この放送を見てもらうことで、少しでも協定への理解が深まってくれたら良いですねえと、皆さんは期待をくくられています。



ま～ずは、やってみるべし！